

## 取り付け・配線の確認

画面例：CN-HDS965TD

1

### メニュー画面「情報」から 「システム情報」を選ぶ



- システム情報画面が表示されます。

2

### 「拡張ユニット情報」を選ぶ



3

### 「BLUETOOTHユニット」が 「ON」表示になっていること を確認する



- 「OFF」表示になっている場合は、正しく取り付け・配線されていない可能性があります。再度取り付け・配線を確認してください。

操作方法は、接続する機器の説明書  
をご覧ください。

## Bluetooth® について

### ■使用周波数帯

本機は2.4 GHz 帯の周波数帯を使用しますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。

本製品の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など(以下「他の無線局」と略します)が運用されています。

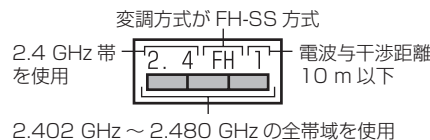
- 1 本製品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
- 2 万一、本製品から「他の無線局」に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、電波の発射を停止した上、お買い上げの販売店または「サービス相談窓口」へご相談ください。
- 3 その他、本製品から「他の無線局」に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、お買い上げの販売店または「サービス相談窓口」へご相談ください。

### ■機器認定

本機は、電波法に基づく技術基準適合証明を受けていますので、無線局の免許は不要です。ただし、本機に以下の行為を行うと法律で罰せられることがあります。

- 分解・改造をする
- ユニット本体の裏側に貼ってある定格銘板をはがす。

### ■周波数表示の見方(定格銘板に記載)



### ■使用制限

- 日本国内でのみ使用できます。
- すべてのBluetooth®対応機器とのワイヤレス通信を保証するものではありません。
- ワイヤレス通信するBluetooth®対応機器は、Bluetooth SIG, Inc. の定める標準規格に適合し、認証を受けている必要があります。ただし、標準規格に適合していても、Bluetooth®対応機器の仕様や設定により、接続できない場合や、操作方法・表示・動作が異なる場合があります。
- Bluetooth®標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、使用環境および設定内容によってはセキュリティが十分でない場合があります。ワイヤレス通信時にご注意ください。
- ワイヤレス通信時に発生したデータおよび情報の漏洩について、当社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品は車載用です。車載用以外には使用しないでください。

### ■他機器からの影響

- 他のBluetooth®対応機器や2.4 GHz帯を使用する機器と本機との距離が近いと電波干渉により、正常に動作しない、雑音が発生するなどの不具合が生じる可能性があります。
- 放送局などが近くにあり周囲の電波が強すぎると、正常に動作しないことがあります。

### ■用途制限

- 本機を使って音楽を聞いたりハンズフリー通話をするには、Bluetooth®対応機器が下記のBluetooth®バージョンに対応している必要があります。
  - ・ Bluetooth®標準規格 Ver.1.2
- 本機を使って音楽を聴くには、Bluetooth®対応機器が下記のBluetooth®プロファイルに対応している必要があります。
  - ・ Advanced Audio Distribution Profile (A2DP)
  - ・ Audio/Video Remote Control Profile (AVRCP)
- 本機を使って携帯電話の通話をするには、携帯電話がHands-Free Profile (ハンズフリープロファイル)に対応している必要があります。
- 携帯電話の電話帳をナビゲーションに転送するには、携帯電話がObject Push Profile (オブジェクトプッシュプロファイル)に対応している必要があります。
- Bluetooth®対応機器の仕様や設定により、接続できない場合や、操作方法・表示・動作が異なる場合があります。
- 本機とBluetooth®対応機器が近くにあっても電波の状態によっては、音が途切れたり雑音が入ったりする場合があります。